

## 1. 簡易ポッチャを漢字一文字で表すと？、その理由は？

「考」・・・体に激しい運動はないものの、頭は激しく回転しており、思考していたから。

「皆」・・・みんなのできる・楽しめるから♡

「道」・・・勝つためにどうしたらいいか自分たちで可能性を探ったり作ったりしていくと思うので、道にしました。

「輪」・・・カーリングのようにいかに円周上に玉を入れるかと、楽しくみんなで輪のように一つになれるから。

「考」・・・体には激しい運動はなかったものの、頭は激しく回転していて、かなり思考していたから。

「癖」・・・癖になる面白さ、自分の癖がなんか分かった、スポーツとして今までにない癖がある(正規ポッチャと違いターゲットが移動する等)

「笑」・・・技能に関係なく、みんなが笑顔になれるスポーツだと思ったから。

「没」・・・没頭できるから

「和」・・・チームの間仲間とも、相手チームの人ともコミュニケーションを取りながらできる楽しさがあるから。

「和」・・・協力プレー、連携プレー

「柔」・・・柔らかく投げること、頭を柔らかくして考えることが必要

「考」・・・先の状況がどうなるかを読んで考えるから

「和」・・・やると和む、異年齢、特別支援ともできるなら、全員が和む

## 2. やってみての感想

- ・ボール操作技能の習熟度に関係なく楽しめると思いました!チーム内の仲間と考えを出し合いながら取り組めるのもいいと思いました!
- ・勝負の行方が最後までわからないので、子どもも夢中になれると思います。・初めてやりましたが、とても楽しかったです。
- ・休み時間にやりたいです。運動場でも代用できるようなものがあるとペア学年でも楽しめそうだと感じました。
- ・また、仲間を信じて、自分が犠牲になることも考えたため、チームへの貢献できるという思いももてて、良かった。
- ・面白かった、自然と作戦会議してしまった、フィニッシュを決める球をどうするかを考えた、授業でやってみたい、ボールの種類を変えてみてやってみたい
- ・パラリンピックの学習として今年度や来年度活用したいです!やってみたら子どももパラリンピックのボッチャを観戦したくなる気がします。
- ・楽しかったです!授業でもやってみます!・特別支援教育でも使えそう。交流授業でも。とにかく楽しかった。
- ・五歳の息子とやりたい。ていうか五歳でもできる。・一投ごとに状況が変わるので、思考が回るゲームだと思いました。
- ・チームで話し合いながら楽しめた!かなり!!・ゲームのルールを理解すれば、運動の好き嫌いに関係なくできると思います。
- ・子どもにとって運動の概念が変わると思います。・一人で考えて進めるのではなく、仲間と協力して思考をしていた。

## 3. 疑問・質問・気になったことは?

- ・的は、転がる(動く)、でも転がり(動き)過ぎないボールがいいなあと思いました。・学校現場で代用できるものを教えてください
- ・体育として行うのであれば、何に気をつけるとよいか。・体育の枠を越えて総合、特活でもいかせるとは学びになった
- ・片方のチームがボール権を獲得したら、もう片方のチームはボールが置かれた後に、  
フィールドに短いお邪魔ボール(トイレットペーパーの芯ぐらいの高さ)を1本好きなのところに置けるというルールはどうだろう。
- ・ボールの材質によって有利不利が変わると思った。お手玉っばいやつはピタッと止まるけど、  
よく転がるものは扱いづらい。これもまた面白いところかもしれない。